

# 日本語日本文学科

「日本文学」「日本語学」「書道等の言語文化」の分野

## 平城びとの遊び心と 『万葉集』

教授 東城 敏毅  
(専門分野：日本文学(上代))

日本で最古の和歌集『万葉集』を読みます。『万葉集』は、平仮名ができる前の歌集のため、全て漢字で歌が記されています。その漢字の書き方から奈良時代の生活が垣間見られ、歌の内容とは別の世界が映し出されます。平城びとの世界を発見してみましょう。

## ヒーローの条件 —平安期物語の人物と表現—

教授 中井 賢一  
(専門分野：日本文学(中古物語))

「ヒーロー」と聞くとどんな人物をイメージしますか？ 平安期の物語には、私たちの常識とは少し異なる「ヒーロー」が多く登場します。平安期物語ならではの背景や表現に注目することで、彼らが「ヒーロー」たりうる条件について考えます。

## 「初恋」のかがかく

講師 江草 弥由起  
(専門分野：日本文学(中世和歌))

現代ミュージックでも古典和歌でも、多くの恋が歌われています。経験した恋を歌うこともあれば、「恋」を題に歌うこともあります。「初恋」の和歌から、恋の歌、恋のふるまいとは何かを考え、現代の美意識についても考えていきましょう。

## 坪田譲治と岡山

教授 山根 知子  
(専門分野：日本文学(近現代の児童文学))

日本における「リアリズム児童文学の祖」と評される岡山出身の坪田譲治は、岡山を舞台とした作品を数多く生み出した作家です。岡山での譲治の体験を知り、「幼時に知った幸福」に支えられた譲治文学を分析することで、郷土の魅力と文学の力を見出しましょう。

## 小説を飛び出した作家たち

教授 長原 しのぶ  
(専門分野：日本文学(近現代の小説))

近代小説の文豪や現代小説の人気作家が作品の世界に留まらず、様々なメディアでキャラクターとして活躍しています。彼らの魅力とは何か。太宰治を中心にその作品を読み解くことで現在の社会がつくり上げる作家像を明らかにし、受け容れられる理由を探ります。



Department of  
Japanese Language and Literature

# 日本語日本文学科

「日本文学」「日本語学」「書道等の言語文化」の分野

## 敬語のしくみを考える

教授 尾崎 喜光  
(専門分野：日本語学 (社会言語学))

日本語の特徴の一つに敬語があります。「行きます」の「ます」、「(そこに)いる」に対する「(そこに)いらっしゃる」などが代表的な敬語です。では、こうした表現が敬語としての働きを持っているのはどういう原理によるのでしょうか。それを考えます。

## 言葉の意味を ”考えて”みよう

准教授 星野 佳之  
(専門分野：日本語学 (古代語、現代語))

言葉の意味は辞書で”調べる”ものというのが普通でしょう。知らない言葉についてはそれが近道ですが、では“知っている言葉”はもうそれ以上考えるべきことはないでしょうか。普段考えることなく使うからこそ、言葉について立ち止まって考える講義です。

## ブックコミュニケーション

教授 伊木 洋  
(専門分野：国語科教育学)

ブックコミュニケーションとは、本との思い出や本をきっかけに考えたこと、気付いたことなどを自由に語り合うものです。新たな読書活動として、かたわらにお気に入りの本を置いて、思いを語り合みましょう。

## 仮名の書き方を考える

准教授 家入 博徳  
(専門分野：書道、書道科教育学)

書では平仮名以外の文字も仮名として使用しています。例えば、「阿」や「悪」も「あ」として使用しています。したがって、それらをどのように使用して書くのかを考えます。また、古典において仮名がどう書かれてきたかについても見ていきたいと思います。

## 情報化時代の読書と バリアフリーを考える

准教授 近藤 友子  
(専門分野：図書館情報学)

近年はバリアフリーという言葉が聞くことが多くなりました。図書館においてもバリアフリーについて考える視点は欠かせなくなっています。情報化時代における図書館を視点とした読書とバリアフリーとの関わりについて考えていきましょう。



Department of  
Japanese Language and Literature